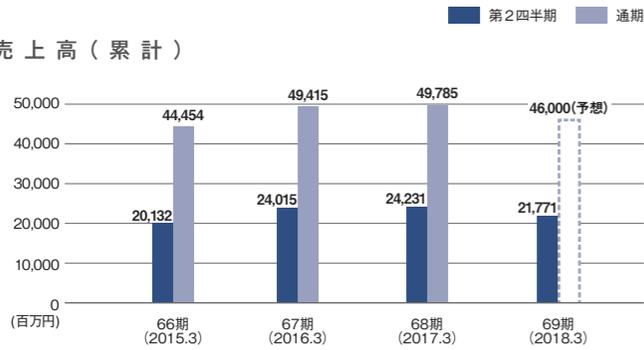
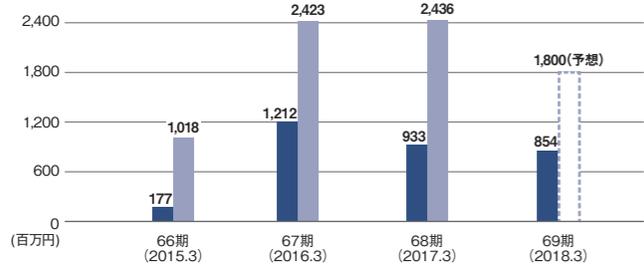


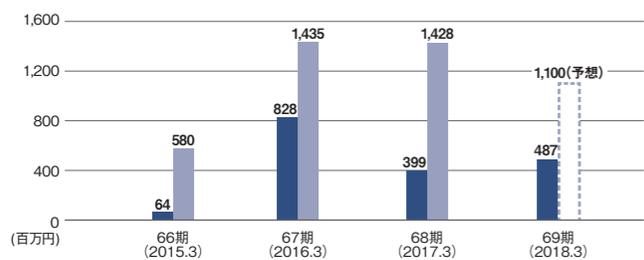
売上高（累計）



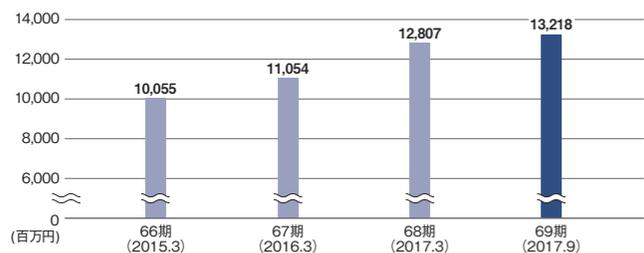
経常利益（累計）



親会社株主に帰属する四半期純利益（累計）



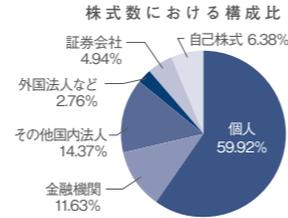
純資産



(備考) 記載した数値は、記載未満の桁数を切捨てて表示しています。

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 普通株式 8,800,000 株
 発行済株式総数 普通株式 2,552,946 株
 (自己株式 162,764 株を含む)
 単元株式数 100 株
 株主数 3,064 名



大株主	株主名	持株数	持株比率
	三栄コーポレーション取引先持株会	124千株	4.88%
	(株)三菱東京UFJ銀行	114	4.47
	東銀リース(株)	111	4.37
	SMBCフレンド証券(株)	75	2.95
	水谷裕之	66	2.61
	(株)三井住友銀行	63	2.47
	三栄グループ従業員持株会	50	1.97
	綜通(株)	49	1.94
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	49	1.93
	三井住友信託銀行(株)	42	1.65

(注) 1. 持株数は表示単位未満を切り捨て、持株比率は小数第3位を四捨五入して表示しております。
 2. 持株比率は自己株式を含んで算出しております。
 3. 当社では自己株式を162,764株保有しております。

株主メモ (2017年9月30日現在)

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
 定時株主総会 6月に開催
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株) 〒168-0063
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株)証券代行部
 (電話送付先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
 公告の方法 電子公告の方法により行います。
 公告掲載URL <http://www.sanyaicorp.com/>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

● 中間配当金のお知らせ

第69期中間配当金として、1株につき60円をお支払いいたします。口座振込をご指定の株主様には、2017年12月1日にご指定の口座にお振込みいたします。口座振込をご指定でない株主様は、中間配当金領収証により、2017年12月1日から2018年1月5日までの間に、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。

株主通信

~To Our Stock Holders~

第2四半期決算報告

2017年4月1日~2017年9月30日

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年3月期第2四半期連結累計期間(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東アジアにおける地政学的リスクの高まりをはじめ海外情勢に引き続き不透明感が強い中、底堅い企業収益を支えに雇用や所得環境が改善し、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気回復基調が続きました。こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比10.2%減少の217億7千1百万円となりました。

当社は株主の皆様に対する利益配分を重要施策の一つと認識し、業績・配当性向などを総合的に勘案のうえで安定した配当を実施することを基本方針としております。当期の中間配当につきましては、この方針に従い、期初の予想のとおり1株につき60円とさせていただきますのでご案内申し上げます。また、期末配当(1株につき60円)と合わせた年間配当は、1株につき120円とさせていただきますのでございます。

2017年12月



代表取締役社長
小林 敬幸



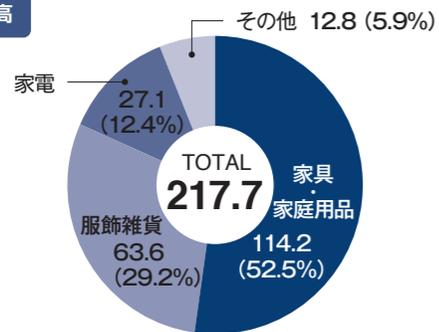
SANYEI CORPORATION



当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比10.2%減少の217億7千1百万円となりました。利益面につきましては、売上総利益率は改善したものの、売上高が減少したことから、売上総利益は前年同期比2億7千7百万円減少の63億6千万円となりました。営業利益につきましては、販管費が若干増加したため、前年同期比3億6千4百万円減少の7億8千万円となりました。経常利益につきましては、営業外収益として為替予約の実現益を計上したものの、前年同期比7千9百万円減少の8億5千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比8千7百万円増加の4億8千7百万円となりました。セグメント別の業績については、中面のセグメント別概況をご覧ください。

69期第2四半期
セグメント別売上高

(単位：億円)



家具・家庭用品事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比9.7%減少の114億2千2百万円となりました。OEM事業では、海外向け家庭用品の売上げが増加しましたが、国内向けの売上げが家具・家庭用品ともに減少した結果、売上げ減少となりました。ブランド事業では、家具・インテリアのネットショップ「MINT(ミント)」の売上げは順調に伸長しましたが、ドイツブランド「WMF(ヴェーエムエフ)」や「Silit(シリット)」等の高級キッチンウェアを販売するヴェーエムエフジャパンコンシューマグッズ(株)の売上げが減少しました。セグメント利益については、売上総利益率が改善したものの、売上高が減少したことから、前年同期比1億3千3百万円減少の7億5千3百万円となりました。



Furniture-Interior
MINT

家電事業



Vitantonio.

当報告セグメントの売上高は、前年同期比20.3%減少の27億1千3百万円となりました。OEM事業では、小物生活家電の売上げが海外向けでは増加した一方、国内向けでは減少しました。また、三發電器製造廠有限公司の売上げは前年実績を下回りました。ブランド事業に

服飾雑貨事業

当報告セグメントの売上高は、前年同期比6.8%減少の63億5千3百万円となりました。海外向け商材の売上げは回復しましたが、国内向けの売上げが減少した結果、OEM事業の売上げは減少となりました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK(ビルケンシュトック)」等を販売する(株)ベネクシーと、ベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling(キプリング)」を販売する(株)L&Sコーポレーションの売上げがそれぞれ減少となりました。セグメント利益については、売上総利益率が改善したものの、売上高が減少したことから、前年同期比2億1百万円減少の1億8千3百万円となりました。



kipling

おいては、「Vitantonio(ビタントニオ)」ブランドの調理家電の売上げ減を主因に、(株)mhエンタープライズの売上げが減少となりました。セグメント利益については、売上総利益率が改善したものの、売上高が減少したことから、前年同期比1千5百万円減少の4千2百万円となりました。



会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	(株)三栄コーポレーション		
創業年月	1946 (昭和21) 年10月		
設立年月日	1950 (昭和25) 年2月20日		
資本金	10億91万4,500円		
従業員数	単体 95名	連結 693名	
本社	〒111-8682 東京都台東区寿四丁目1番2号 三栄寿ビル 電話 03-3847-3500 (代表)		
支社	東京		
事業所	大川 (福岡県大川市)		
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ 市場 (証券コード: 8119)		



当社公式サイト



役員一覧 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	小林 敬幸	取締役	寺本 将憲
常務取締役	村瀬 司	取締役 (監査等委員)	樋口 功
常務取締役	清水 誠二	[社外] 取締役 (監査等委員)	今井 靖容
常務取締役	柴田 渉	[社外] 取締役 (監査等委員)	水上 洋
取締役	佐野 雅彦		
取締役	田山 敬一		
取締役	水越 雅己		

主な子会社 (2017年10月1日現在)

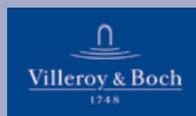
国内子会社	(株)ベネクシー (株)mhエンタープライズ (株)L&Sコーポレーション (株)エッセンコーポレーション (株)ベビカ (株)サムコ (株)エス・シー・テクノ 三栄興産(株)
-------	---

海外子会社	TRIACE LIMITED 三發電器製造廠有限公司 三發電器製品 (東莞) 有限公司 三栄貿易 (深圳) 有限公司 三嘩国際貿易 (上海) 有限公司 SANYEI CORPORATION (MALAYSIA) SDN. BHD. SANYEI (DEUTSCHLAND) G.m.b.H.
-------	---

TOPICS

ビレロイ&ボッホの取扱いを開始しました

ビレロイ&ボッホは、1748年、ドイツ人フランソワ・ボッホ氏によって陶磁器のブランドとして創業、1768年にオーストリア領ルクセンブルク市郊外に陶磁器工場を設立し、その後ハプスブルク家マリア・テレジアの庇護を受けて王室御用達となりました。1791年、フランス人ニコラ・ビレロイ氏が陶磁器工場を設立し、その後、ビレロイ家とボッホ家が合併して、ビレロイ&ボッホとなりました。現在でもルクセンブルク大公国の王室御用達ブランドとして知られているヨーロッパ有数の老舗ブランドです。現在では、ドイツの技術とフランスの感性が融合した世界有数のテーブルウェアとして発展を遂げ、高級ホテルやレストランで採用され、日本でも多くの皆様にご支持いただいています。ビレロイ&ボッホのテーブルウェアを、2017年10月より当社グループでの取扱いを開始しました。



<http://www.villeroy-boch.co.jp/>

業務用調理機器ブランド マルチシェフのご紹介

マルチシェフは、プロの料理人のこだわりを実現するため、日本発想にこだわって開発したフードプロセッサー、ブレンダー、サンドペーカーを取り扱う、当社グループオリジナルの業務用調理機器ブランドです。グローバル化する業務機器市場において、現場を見据えたゆるぎない存在であるために冴える日本ならではの発想を追求。長年培った確かなノウハウと技術、妥協を許さない情熱により極める料理人のこだわりをカタチにします。フードプロセッサーとブレンダーには、耐久性の向上につながる日本発の革新的テクノロジー“マグネット・ギヤ”(特許申請中)を採用し、ブレードなどには、日本が世界に誇る“関の刃物”や“燕三条の目立て技術”を採用しています。今年からマルチシェフのブランド機材を使用して、著名なシェフによるプロ向け講習会を開催し、ブランドの認知度向上に努めています。



<http://multichef.co.jp/>

社会貢献活動 NPO法人日本多発性硬化症協会のご紹介

当社では、1977年から認定NPO法人日本多発性硬化症協会(以下、日本MS協会)への支援を続けています。多発性硬化症(MS=Multiple Sclerosis)とは、中枢神経系の脱髄疾患の一つで、脊髄等の障害により手足のしびれや運動麻痺などが起こる病気です。1972年に、厚生労働省指定の難病疾患の一つに指定されました。日本MS協会は、ロンドンに本部がある「多発性硬化症世界連合」のメンバーとして、調査研究費の助成と、講演会や相談会の開催、メディアへのPR等の広報活動を行っています。当社創業者、故和泉國夫氏が日本MS協会の発起人の1人であったため、設立時より同協会の事務局を当社内に設置する等支援を続けています。今後も、多発性硬化症の早期撲滅に向けて同協会を支援して参ります。

日本多発性硬化症協会(日本MS協会)へご賛同いただける方のご支援をお待ちしています。
認定特定非営利活動法人 日本多発性硬化症協会 〒111-0042 東京都台東区寿四丁目1番2号 TEL: 03-3847-3561
事務局 長島 荘次 E-mail: jmss@sanyaicorp.co.jp <http://www.jmss-s.jp>